



[プレスリリースダウンロード](#) →

新見公立大学

ものづくりの拠点 「MONO / KOTO 工作室」オープン

新見市在住アーティストによる特別展示も開催

11月6日(金)13:30 報道公開／14:30 一般公開



外観



室内

概要

新見公立大学は、3号館1階北奥に「MONO / KOTO(モノコト)工作室」を、11月6日(金)にオープンします。デジタルとアナログの両方からものづくりができる「ファブラボ」と、人が集まって話せるコミュニケーションスペース、作品を展示できるギャラリーを備えた拠点です。

名前の「MONO / KOTO」には、手を動かして「もの」をつくることに加えて、そこで生まれる体験や出会い、記憶に残る出来事といった「こと」も大切にしたいという思いを込めています。2027年度に始まる本学の副専攻「地域共創実践プログラム(NiU-CCP)」では、当施設を造形文化ラボの活動拠点として活用します。

内装は木で統一しました。椅子は、廃校となった旧・井倉小学校の図画工作室で使われていたものです。外壁は、まわりの斜面や山の緑をモチーフに、グリーンとホワイトを斜めに塗り分けたデザインです。

オープニングでは、新見市在住のアーティスト、垣上凜乃の作品を特別展示します。

みどころ

レーザーカッター・3Dプリンター・3Dスキャナー

当施設で導入している機械です。手でつくった形を読み取ってデータにし、木などの素材から切り出すなど、手作業と機械を行き来しながらものづくりができます。レーザーカッターは、レーザーの光で木などを切ったり彫ったりする機械です。

さまざまな分野の研究協力者が関わるラボ

当施設の研究母体である発達支援メディアラボ(DSML)には、アート・身体・デジタルなど、分野の異なる人たちが関わっています。

新見公立大学 学部副専攻 2027年度開始

地域共創実践プログラム(NiU-CCP)

<https://sites.google.com/niimi-u.ac.jp/niu-ccp/>



<報道関係の方からのお問い合わせ先>

新見公立大学 発達支援メディアラボ(森英顕) MAIL:mori@niimi-u.ac.jp TEL:0867-72-0634(大学代表)

オープニング特別展示 アーティスト・プロフィール

垣上凜乃(かきうえ りの／アーティスト) Instagram @kakiue_rino_artworks

1994年生まれ。5歳から新見で育つ。広島市立大学芸術学部彫刻専攻卒業、同大学院造形芸術専攻博士前期課程修了。現在は地元・新見を拠点に、「八百万の神」をモチーフとして、ものに宿る気配や存在をテーマに制作しています。小豆島での滞在制作やワークショップなど多方面で活動し、2026年1月から2月には新見美術館で個展「時の底に眠る」を開催しました。

2027年度からは、新見公立大学の副専攻「地域共創実践プログラム(NiU-CCP)」の造形文化ラボを、健康保育学科教授の森英顕と2人で担当します。

会期：2026年11月6日(金)～

11月7日以降の開場は不定期で、作品はオープンスタジオの日にご覧いただけます。日程は発達支援メディアラボのWebサイトとInstagram(@dsml.hub_2025)でお知らせします。



垣上凜乃の作品

開催情報

日時 **2026年11月6日(金)**
報道公開 13:30～14:30
一般公開 14:30～16:30

会場 **新見公立大学 MONO / KOTO 工作室**
3号館1階北奥

住所 〒718-8585 岡山県新見市西方1263-2

主催 新見公立大学



会場の場所(新見公立大学 3号館1階北奥)

関連イベント 壁塗りワークショップ

日時 2026年10月30日(金)10:30～18:00

会場 新見公立大学 MONO / KOTO 工作室(3号館1階北奥)

内容 オープンに先立ち、学生がアーティスト・垣上凜乃と一緒に、ギャラリーの壁を塗ります。

対象 新見公立大学の学生

発達支援メディアラボ(DSML)について

問いを育てる、感覚と思考のあそび場。

発達支援メディアラボ(DSML)は、MONO / KOTO 工作室の研究母体となる本学のラボです。美術家・詩人・彫刻家・身体メソッドの開発者・地域の文化事業の企画者・デジタルクリエイターなど、分野の異なる人たちが研究に関わっています。

ラ メ 発 Developmental
ボ デ 達 Support
イ 支 Media
ア 援 Lab



<https://dsml-hub.jp>

研究協力 **勝野眞言**(彫刻家／崇城大学名誉教授) 土や天草陶石を素材に、人間をテーマとした彫刻を制作。2025年、第81回恩賜賞・日本芸術院賞
瀬上友里恵(詩人・ライター・校正者) Web記事や書籍の執筆・校正のほか、「深町秋乃」の名で詩作
大館裕右(地域活性・文化振興事業／ポラスデザインラボ代表理事) 小豆島・直島を拠点に、土地の文化や記憶をひもとく企画を展開
西山創(イス軸法®開発者・身体感覚調律師) 中国武術と整体の経験から、椅子を使って体の中心軸を整える方法を開発
つん(美術家) 自分の心を救う理想郷「あなぐまち」を、段ボールなどで幼少期から制作。2024年、第27回岡本太郎現代芸術賞で岡本太郎賞
垣上凜乃(アーティスト) 「八百万の神」をモチーフに、ものに宿る気配や存在をテーマに制作。2026年、新見美術館で個展
多田隈祐司(デジタルクリエイター／ZERO INNOVATION代表) Honda、3D Systems、Autodeskを経て、3DプリンターとNFCで製品を開発

研究代表 **森英顕**(彫刻家／健康保育学科 教授)

<報道関係の方からのお問い合わせ先>

新見公立大学 発達支援メディアラボ(森英顕) MAIL:mori@niimi-u.ac.jp TEL:0867-72-0634(大学代表)